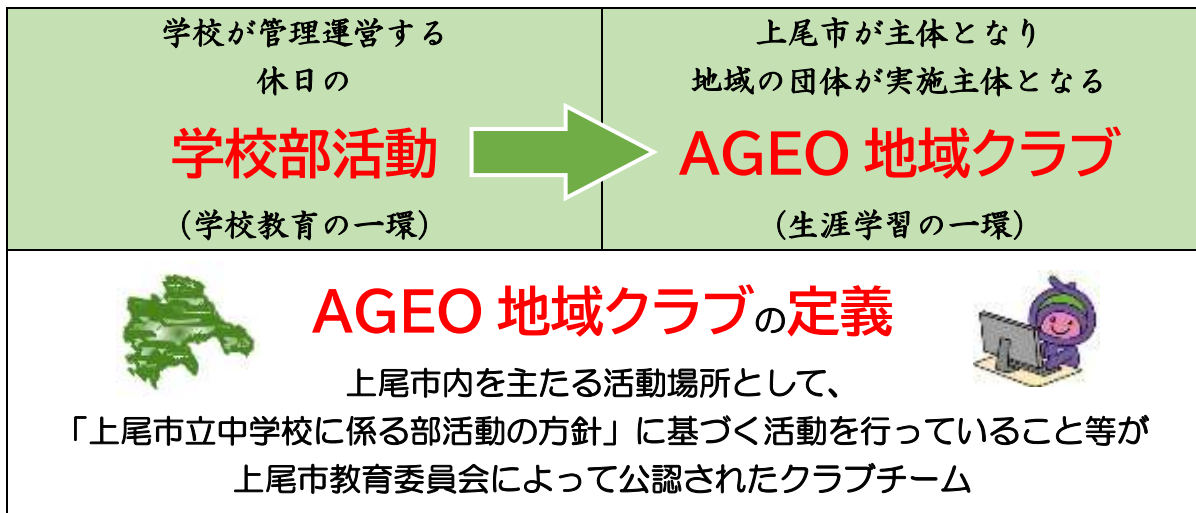




【上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針】

上尾市では、学校教育の一環として学校が実施してきた休日の「学校部活動」を、生涯学習の一環として地域の団体が実施主体となる「AGEO 地域クラブ」に移行するとともに、目標を達成するため、以下の5つの柱を基本方針とし、上尾市における地域クラブ活動の最適な実施を目指すこととします。



- ① 生徒が、生涯にわたって、スポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境を積極的に整備する。
 - 現存の学校部活動の種目に限らず、生徒の多様なニーズに応じた、「多種目」「多志向」「インクルーシブ」な環境を整える。
地元企業等からの運営面での支援を上げ、生徒の参加の支障とならない参加費用額を設定する。
- ② 生徒が、スポーツ・文化芸術活動に継続的に取り組むことができる強固な体制を整備する。
 - 生徒が安心して、安全に活動することができる管理方法の整備や指導者の資質向上を図るとともに、指導者や運営スタッフを持続的に確保できる仕組みを整える。
- ③ 生徒・保護者・教職員・地域指導者等、それぞれの思いを反映させた地域クラブ活動とする。
 - 各種アンケート調査の実施等、意見聴取の機会を適宜設け、各地域や種目ごとの最適な地域クラブ活動とする。
- ④ 地域クラブ活動への移行の時期については、学校部活動の現状や種目の特性等を考慮し、種目ごとに無理のないスケジュールにおいて推進する。
 - 中学校体育連盟主催大会の参加規程や種目の特性等を踏まえ、種目ごとに無理のないスケジュールを組み、モデル事業を丁寧に実施し、検証及び議論を重ねた上での移行を目指す。
- ⑤ 上尾市における地域クラブ活動実施に係る情報を、市民に対し、広く周知する。
 - 地域説明会や講演会等を実施し、本基本方針等について広く周知を行うとともに、教育委員会ホームページ等への地域クラブ活動実施に係る関係情報の掲載を通して、本事業に関する市民の理解を求める。

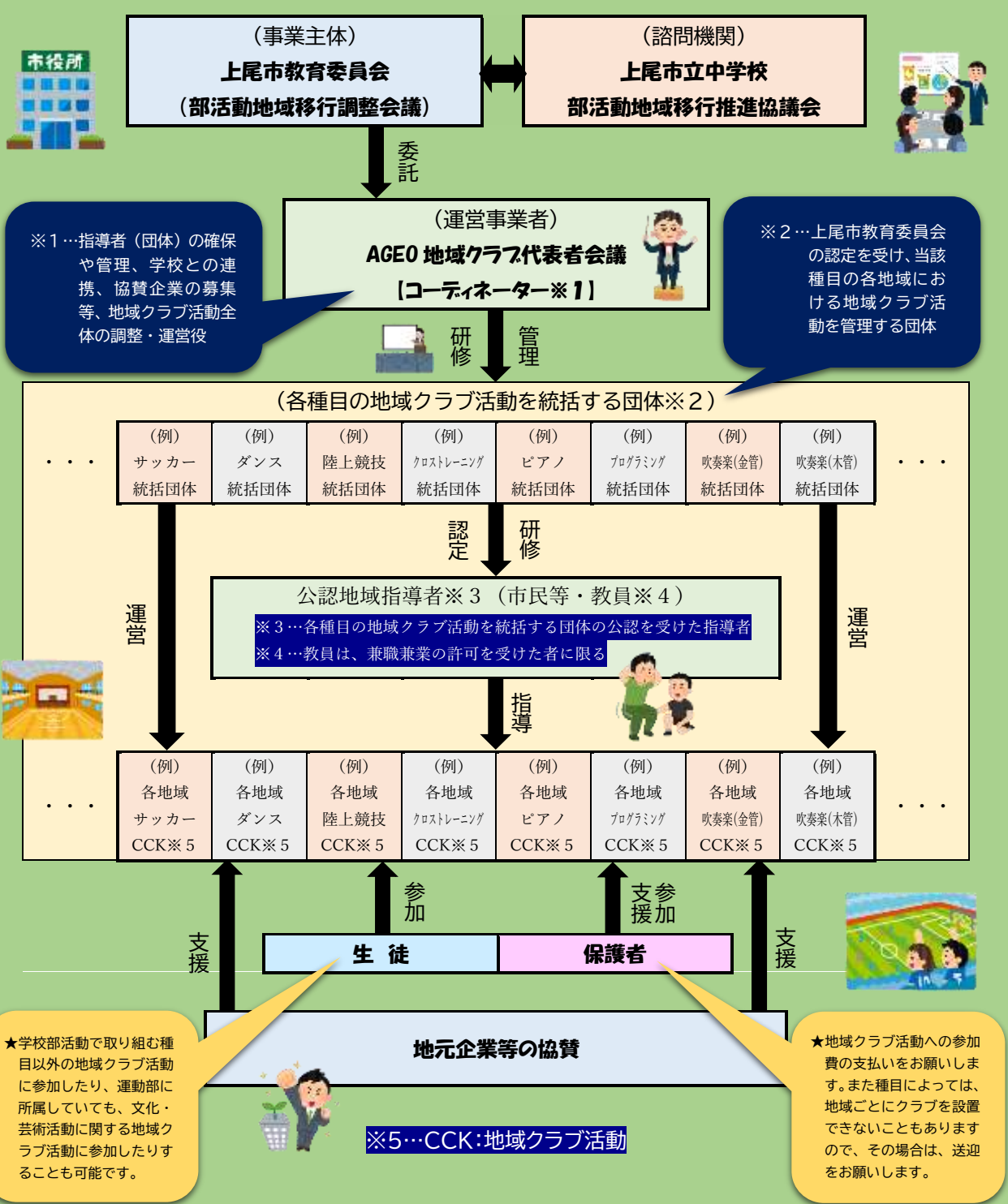




上尾市教育委員会が「AGEO 地域クラブ」の事業主体です



【 基本構想イメージ 】



- 令和8年8月より、上尾市立中学校の休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行することを目標とします。
※平日の学校部活動は、現行どおり、教員が指導しますが、活動時間の適正化と、各校の生徒数や教員数等を考慮して、部活動数の精選を進めます。
- 各種地域クラブ活動の実施に当たり、各スポーツ及び文化芸術活動を統括する団体を募集します。
※スポーツ協会、スポーツ協会に加盟する競技団体、総合型地域スポーツクラブ、市民団体等を中心に募集し、必要に応じて民間企業との連携も検討します。
- 各スポーツ及び文化芸術活動を統括する団体が、各種目の地域クラブ活動を運営します。
- 市は、各スポーツ及び文化芸術活動を統括する団体の代表者を集めた「AGEO地域クラブ代表者会議」を設置し、運営事業者としてのコーディネーター業務及び管理を行います。
- 地域クラブ活動に参加する場合、生徒は参加費を支払います。
※但し市は、参加費の負担軽減に資する取組等を推進します。





AGEO 地域クラブの果たす役割



◎生徒のニーズに応じた充実した活動の実施

- 新たな活動及び複数の活動へのチャレンジ機会の創出
- 本当に自分がやりたいことへのチャレンジ機会の獲得
- 他の中学校に在籍する生徒等との交流による豊かな人間関係の構築
- 専門の指導者から受けられる効果的な指導機会の獲得



◎教員の働き方改革の推進

- 中学校教員の時間外在校等時間の減少
- 学力向上等につながる教員の指導力の向上
- 授業等教育活動の充実
- 校務と学校部活動の無理のない両立



◎生涯学習の推進

- 持続可能な活動環境の整備
- 多世代のつながり
- 活動への参画人数の増加
- 地域コミュニティの強化・拡大
- 生涯にわたる健康保持増進



コーナー 「教えて!AGEO 地域クラブ」



Q: どんな種目のクラブ
ができるのですか?

A: 学校部活動の種目を基本としますが、生徒のニーズの状況により、必要に応じて新規に設置する場合があります。

Q: 各種目の活動拠点
はどこですか?

A: 活動拠点については、まずは、各種目1拠点から整備し、参加者数の増加状況に応じて拠点を増やしていきます。最終的には、市内を下記のように4つの地域に分けて拠点を設けることを目指していきます。



【 AGEO 地域クラブの活動拠点 】

拠点1・・・北東地区（主に上平中学校・東中学校とその周辺施設）

拠点2・・・南東地区（主に上尾中学校・原市中学校・瓦葺中学校とその周辺施設）

拠点3・・・北西地区（主に大石中学校・西中学校・大石南中学校とその周辺施設）

拠点4・・・南西地区（主に太平中学校・南中学校・大谷中学校とその周辺施設）



Q: AGEO 地域クラブに
生徒はどのように参加
するのですか?

A: 生徒は、保護者の了解の下、希望する地域クラブに参加を申し込み、参加費を支払った上で参加します。また、自身が居住する地域クラブへの参加を基本としますが、ニーズに合った地域クラブが無い場合は、保護者の了解の下、自身が居住しない地域クラブに参加することができます。
※参加申込の手順等については、各スポーツ・文化芸術活動を統括する団体の指示に従うこととなります。



Q: AGEO 地域クラブ
は、中体連主催の大会
に出場するのですか。

A: AGEO 地域クラブとしての中体連主催大会等への参加は、令和8年度の新人体育大会上尾市予選会から参加を許可する予定です。

Q: いつから AGEO 地域
クラブに入会できる
のですか。

A: 準備を整え、令和8年度当初から、AGEO 地域クラブへの入会手続きをしていただく予定です。



「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」は、完成後、上尾市ホームページにアップします。

【問い合わせ先】 上尾市教育委員会 学校教育部指導課

〒362-8501 埼玉県上尾市本町3-1-1 TEL048-775-9672



上尾市における 部活動の地域移行



に向けた基本方針（案）【概要版】

【目 標】

すべての生徒が、地域において、
自己のニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動に
親しむことができるようにすること

「部活動の地域移行」とは

文部科学省の「学校における働き方改革」により、令和5年度から部活動が段階的に地域移行されることとなりました。部活動の地域移行とは、部活動を学校主導から地域主導へ移行することです。

これまで教員が経験・未経験問わず指導してきた部活動を地域主導に移行することで、教員の負担軽減と、スポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、生徒の体験格差を解消することを目的とした国を挙げての一大プロジェクトです。

なぜ「部活動の地域移行」が必要なのか？（市方針策定の背景）

●少子化及びニーズの多様化

- 生徒数は、昭和61年をピークに減少に転じ、平成12年から平成26年までは横ばい、その後、緩やかに減少し、令和4年では5,614人となっている。
- 市内全体で10.8%の児童が、「進学する予定の中学校の部活動の中で、入りたい部活動がない」と回答している。



●生徒のスポーツ・文化芸術活動を支える人材の確保と育成

- 「現在の学校教育における部活動について課題がある」と回答した86.2%の教員のうち、「専門的な指導ができない」ことを課題に挙げた教員が66.1%いた。

●教員の働き方改革 等

- 顧問をしている教員の約8割が部活動を負担に感じる、やや感じると回答し、その約8割以上が校務と部活動の両立が困難であることをその理由に挙げている。



- ★少子化やニーズの多様化が進むこれからの上尾市においても、全ての子供たちが自分のチャレンジしたいことに取り組むことができるスポーツ・文化芸術活動に係る環境構築が必要である。
- ★少子高齢化の時代であっても、その種目を支える人材を十分に確保するため、指導を希望する教員や地域の指導者が継続して指導に従事することのできる仕組みが求められる。
- ★令和の日本型学校教育の推進やICT端末の活用など、豊かな学びの充実が求められる中、授業の準備時間や研修の時間を十分に確保できないことは大きな課題である。

